

○我園の特色

静岡幼稚園 宇式かん氏談

一、私の園で實行致して居ることで特に申上げた
 いと思ひますのは、毎日食後に必ず口を嗽がせる
 ことであります。一體齒の養生は特に幼兒にとつ
 て大切なことであると氣付いたから、何うかして
 食後には必ず口を嗽がせたいと思つては居りまし
 たが、中々之を實行するのが面到了した。併し、
 是は何うしても實行しなければならぬことと思つ
 て五年程前から斷然行らせることに致しました。
 行つて見ると初めの程は一寸面倒な様な氣もしま
 したが、直ぐに慣れて其後は少しく、おつくうに
 思ふ様なことがなく行ひ續けて居ります。其方法は
 辨當のあとで直に其茶碗を以て保育室の隅の方で
 別に備へ付けたバケツに温湯でうがひをさせるの
 で、至つて簡單なものです。之を實行して以來、
 子供の齒痛を訴へるものが殆んどない様になりま

した。今では父兄なども大層喜んで居るそうで御
 座います。子供の血齒などもそれが爲め、大層減
 つた様に存じます。

二、次に私の園の特徵は子供が大層亂暴なこと
 であります。小さい組などはそうでもありませんが
 五つ六つとなりますと、まあ其亂暴など、逆も御
 話しにはなりません。色々心に配して、だました
 り、すかしたり、或は静かな遊戯を教へたり、考
 へることの多い手細工や遊びごとをさせたりしま
 すけれども、一生懸命骨を折つて居る間だけ、僅
 に静かにして居るだけで、後はもう喧噪亂暴、實
 に、烈しいものです。何うしたらば此噪がしい性
 質を静めることが出来るものかと常に心に配して居
 るのであります。何かよい御考へが御座いますな
 らば伺ひたいものであります。

三、次に私の園の特色とも申す可きは園の位置が
 兵營の直ぐ前にありますので、一體に子供の姿勢
 を直はすのに誠に都合よいことであります。前に

居んで居るものなどがあるときには、直ぐに、誰
 さんは兵隊にまけますねと得ふと、直ぐに、直立
 不動の姿勢になります。其せいか子供の姿勢は常
 に眞直で誠によいと思つて居ります。

四、私の園には小さい子を慣らすのに特別の技量
 を持つた助手が一人居ります。何んなにひどく泣
 いて居る様な子供でも此人に遇ふと直に慣れ親ん
 で仕舞ふことは實に不思議な位で御座います。そ
 れで今では何時も一番小さい、入り立ての子供を
 のみ常に受持つて慣らして居ります。一體私の
 園では新に入れます子供は一時に入ませんで、何
 時も三度に切つて入て居ります。其間は一ヶ月位
 離して一度に廿五人位きり入ません、斯様にして
 居と子供を慣らすのに餘程便利の様であります。

五、一體に私の園では子供を保育するのには成る
 べく子供の自然性に反らぬ様、之を利用すること
 に努めて居ります。斯様にして居れば子供に決し
 て無理強いをする心配もなく、従つて子供を損ふ
 恐れもないことと思ひます。先きの助手などもこ

この道理を呑み込んで之を巧みに實行したのであ
 ります。私が斯る信念を持つ様になりましたに就
 いては一つのお話が御座います。實に數年前私
 は或朝例の如く幼稚園に出勤しやうと思つて参り
 ますと城のお塚に釣をして居る人が今しも大きな
 鯉を釣り上げ掛けた所で、人と鯉と負けるか勝つ
 かの瀬戸際で、あたりは見物人の黒山で御座いま
 した。其時其釣り人は巧みに鯉を繰つて、鯉が向
 ふに逃げ様とすれば糸のあり次第、竿の續き次第
 伸ばして遣つて、鯉が疲れた頃を見ては自分の方
 に引き寄せる様にして居て、水面をあらへ行つ
 たり、此方に來たりして居りましたが、遂に仕舞
 に、之を釣り上げて仕舞ました。私は此時に大に
 感じました。全く活きた人間を扱ふのも此心持で
 行らなければならぬ。一概に此方の思ふ様にしよ
 うとすれば却つて失敗するものであると氣付いて
 からは、新に保母たらんとする人を指導する毎に
 何時も此話をして幼児取扱の秘訣を知らせる様に
 して居ります。詰らぬことを申し上げましたが私
 の園の様子は右様申上る様なことで御座います。